

完了後の評価個表

整理番号	2-1
------	-----

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	群馬県
ふりがな 地域(地区)名	<small>あがつま</small> 吾妻地区	事業実施主体	群馬県
関係市町村	中之条町、長野原町、東吾妻町(旧吾妻町)、高山村、中之条町(旧六合村)	管理主体	中之条町、長野原町、東吾妻町(旧吾妻町)、高山村、中之条町(旧六合村)
事業実施期間	H14~H18(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区は、群馬県の北西部に位置し、利根川の一大流域である吾妻川流域に存する3町1村からなる地域で恵まれた森林地域の特性を活かした農林業と豊富な温泉資源を礎とする観光産業が盛んな地区である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は、72,421ha、そのうち人工林が34,451haを締めており、間伐等の森林整備が必要となる3齢級(15年生)から8齢級(40年生)の森林が5,338haで約15%を占めている。 また、地区内の森林のうち、水源涵養保安林が35,284ha、土砂流出防備保安林が10,837ha指定されており、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに約34,451haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっていたところである。 また、当地域には森林整備を効率的に実施するための基幹となる林道等の路網が未整備であったことから、森林施業の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、森林整備を実施するために、その手段となる施業の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備したものである。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備</p> <p>① <small>かづまやません</small> 吾孺山線 車道幅員 4.0m 開設延長 8,735m 利用区域面積 4,062ha</p> <p>② <small>さかくらせん</small> 坂倉線 車道幅員 4.0m 開設延長 926m 利用区域面積 1,202ha</p> <p>③ <small>きたやまほんせん</small> 北山本線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,937m 利用区域面積 1,629ha</p> <p>森林管理道整備</p> <p><small>じしやぎせん</small> 寺社木線 車道幅員 3.0m 開設延長 111m 利用区域面積 232ha</p> <p>総事業費 1,966,060千円 (当初総事業費 1,468,662千円)</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 森林基幹道整備において、長期計画路線の早期完成を目指すため、計画期間内の開設延長を増やしたこと(約6,100m増)により、総便益及び総費用が増加している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益 (B)</td> <td style="width: 20%;">4,282,646千円</td> <td style="width: 30%;">(事業採択時)</td> <td style="width: 20%;">2,316,433千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>3,745,941千円</td> <td>(事業採択時)</td> <td>1,584,715千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>1.14</td> <td>(事業採択時)</td> <td>1.46)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	4,282,646千円	(事業採択時)	2,316,433千円)	総費用 (C)	3,745,941千円	(事業採択時)	1,584,715千円)	分析結果 (B/C)	1.14	(事業採択時)	1.46)
総便益 (B)	4,282,646千円	(事業採択時)	2,316,433千円)										
総費用 (C)	3,745,941千円	(事業採択時)	1,584,715千円)										
分析結果 (B/C)	1.14	(事業採択時)	1.46)										

整理番号	2-2
------	-----

② 事業効果の発現状況	<p>林道整備により森林施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、整備前5年間の森林整備面積約860haに対し、整備後5年間で約1,260ha（1.5倍）の森林整備が実施されている。</p> <p>集落間の林道については、地域住民の重要な生活道として利用されている。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された林道は、中之条町・東吾妻町・長野原町・高山村が定めた林道管理規定に基づき適切に管理され、年数回の草刈りや側溝清掃、路面の整正等が行われ良好な維持管理状況にある。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮や既設道との連絡線形となり移動の効率性等が向上し林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減され、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上してきている。</p> <p>林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見られない。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道整備に伴い高性能機械が導入され、効率的な森林施業による労働強度の軽減や通勤時間の短縮が図られるとともに、森林組合において新たな職員が採用されるなど雇用の拡大が実現した。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林施業に対する所有者の意欲は徐々に改善されつつあるが、長期的な木材価格の低迷等により人工林の間伐等への森林整備は十分とはいえない状況にある。</p> <p>今後は、当該林道と林業専用道や森林作業道を結ぶ路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械のさらなる導入等を行い、より効率的かつ低コストな施業を引き続き推進する必要がある。</p> <p>また、当該事業により整備された林道については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見： 林道整備により森林へのアクセスが改善されたため、適切な森林整備が実現され、水源涵養や山地災害防止等の公益的機能の発揮が向上している。（群馬県） <ul style="list-style-type: none"> 当該地区4カ町村を結ぶ連絡道路として活用されると共に、森林資源の有効活用が図られ町の活性化の重要な役割を果たしている。（中之条町） 林道を利用しての他地区の集落への移動や森林管理等の利便性が高まった。（東吾妻町） 林道整備により大型の高性能林業機械の利用等合理化された林業経営が可能となり森林の有効活用と共に生活道路としての活用も図られている。（長野原町） 既存の6路線の林道とが連絡し、森林への移動が効率的になり効果的な森林整備が図られている。（高山村）
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地元の意見にも見られるとおり、当該事業施工後は、水源の涵養や山地災害防止等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど当事業の効果が発揮されていること。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地の条件に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で林道の計画が作成されるとともに、事業実施に当たっても現地発生材を利用するなどコスト縮減に努めたことから事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスや機能性が向上したことから、作業効率がアップし、森林整備や木材生産が促進されており、今後も一層の発現が見込まれること。 森林整備により、森林の景観が向上してきていること。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林居住環境整備事業

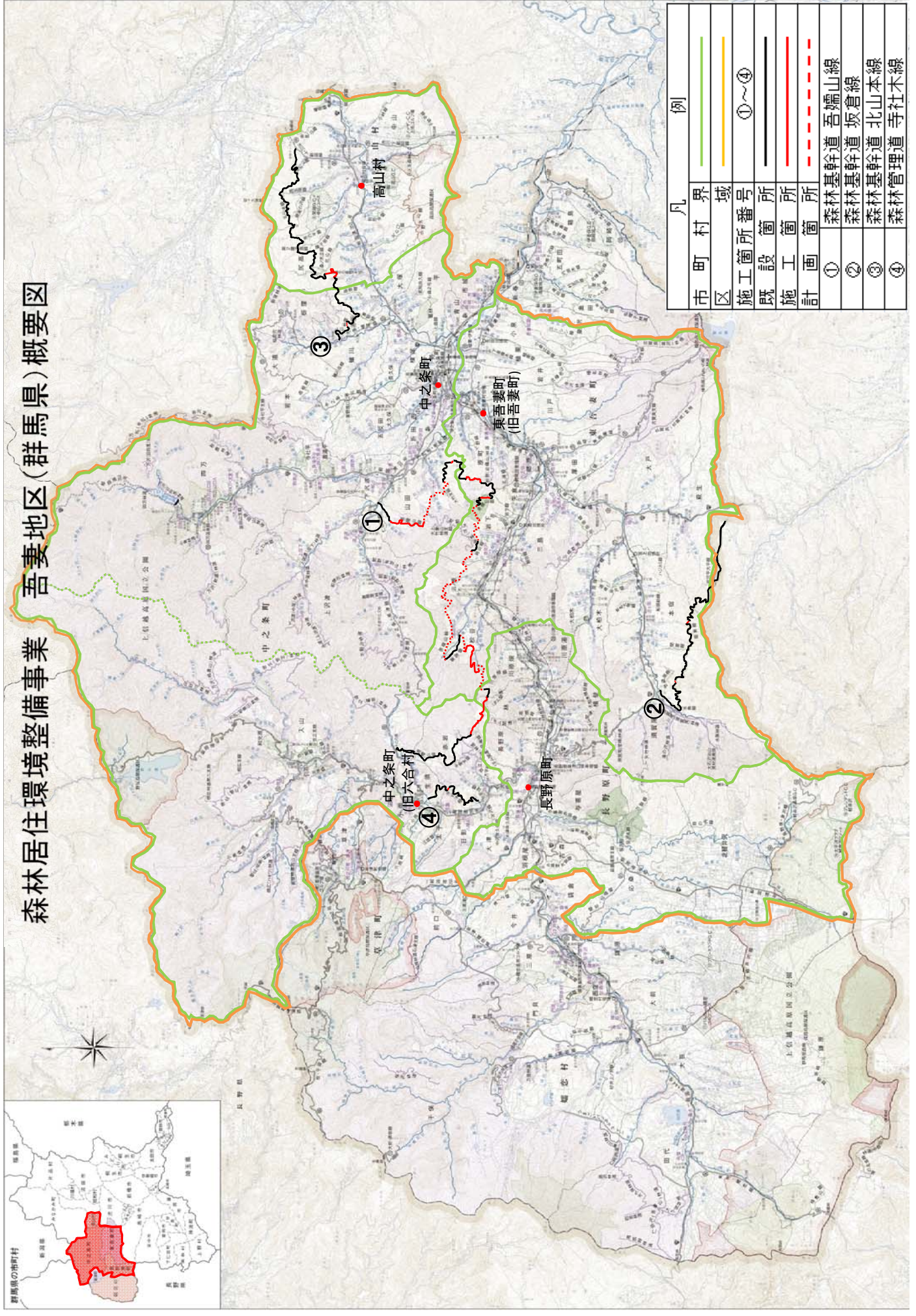
都道府県名： 群馬県

地域(地区)名： ^{あがつま}吾妻地区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	67,214	
	木材利用増進便益	46,172	
	木材生産確保・増進便益	632,303	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	12,537	
	治山経費縮減便益	147,890	
	森林管理等経費縮減便益	3,809	
	森林整備促進便益	3,319,566	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮便益	467	
	ふれあい機会創出便益	6,398	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	42,355	
維持管理費縮減便益		3,935	
総 便 益 (B)		4,282,646	
総 費 用 (C)		3,745,941	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,282,646}{3,745,941} = 1.14$		

森林居住環境整備事業 吾妻地区(群馬県)概要図



凡例	
市町村界	—
区域	—
施工箇所番号	①~④
既設箇所	—
施工箇所	—
計画箇所	- - -
①	森林基幹道 吾妻山線
②	森林基幹道 坂倉線
③	森林基幹道 北山本線
④	森林管理道 寺社木線